

# JIS

## 自動車—非鉱油系液圧ディスクブレーキの ゴムシール

JIS D 2609 : 2002

(JSAE/JSA)

(2006 確認)

平成 14 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	畑 中 徹	株式会社本田技術研究所
(委員)	大津賀 文 雄	トヨタ自動車株式会社
	大野 陽 男	社団法人日本自動車部品工業会
	金 井 孝	国民生活センター
	川 嶋 弘 尚	慶應義塾大学理工学部
	小 林 栄	日本自動車輸入組合
	小 林 行 雄	社団法人日本自動車連盟
	斎 藤 敬 三	独立行政法人産業技術総合研究所
	佐々木 要 助	株式会社曙ブレーキ中央技術研究所
	下 田 邦 夫	社団法人全日本トラック協会
	久 米 正 一	国土交通省自動車交通局
	平 松 金 雄	財団法人日本自動車研究所
	広 瀬 久 士	財団法人日本電動車両協会
	古 谷 國 貴	株式会社本田技術研究所
	水 野 慶 之	財団法人日本自動車輸送技術協会 自動車基準認証国際化研究センター
	森 部 幸 男	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	山 本 迪	早稲田大学理工学部
	和 田 政 信	日産自動車株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 57.3.1 改正：平成 14.3.20

官 報 公 示：平成 14.3.20

原 案 作 成 者：社団法人 自動車技術会（〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 TEL 03-3262-8216）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：自動車技術専門委員会（委員長 畑中 徹）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室  
[〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511（代表）]にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車—非鉱油系液圧ディスクブレーキの  
ゴムシール

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	6.3.5	a) 硬さ変化は、次の式…	b) 硬さ変化は、次の式…

平成 15 年 8 月 12 日作成

白 紙

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人自動車技術会(JSAE)/財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 2609:1993** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 6119:1980** [Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 120 degrees C max.)] 及び **ISO 4930:1978** [Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 150 °C max.)] を基礎として用いた。

**JIS D 2609** には、次に示す附属書がある。

附属書（参考）**JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類	2
4. 品質	2
4.1 外観	2
4.2 性能	2
5. 材料	4
6. 性能試験方法	4
6.1 常態試験	4
6.2 老化性試験	4
6.3 耐液性試験	5
6.4 沈殿試験	7
6.5 金属腐食性試験	7
6.6 耐寒性試験	10
6.7 低温漏れ試験	11
6.8 常温作動耐久性試験	12
6.9 高温作動耐久性試験	13
6.10 保存腐食性試験	14
7. 材料試験	15
7.1 常態試験	15
7.2 老化性試験	16
7.3 圧縮永久ひずみ試験	16
7.4 耐液性試験	17
8. 保管	19
9. 表示	19
附属書（参考） JIS と対応する国際規格との対比表	20
解 説	28

# 自動車—非鉱油系液圧ディスクブレーキの ゴムシール

## Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid

**序文** この規格は、1980年に発行された ISO 6119, Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 120 degrees C max.) 及び 1978年に発行された ISO 4930, Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 150 °C max.) を元に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を一部変更して作成した日本工業規格であり、対応国際規格には規定されていない項目を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更した事項又は追加した事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、自動車用液圧ディスクブレーキシリンダで非鉱油系ブレーキ液を使用するディスクブレーキシリンダのゴムシール（以下、シールという。）について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

**ISO 6119:1980** Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 120 degrees C max.) (MOD)

**ISO 4930:1978** Road vehicles—Elastomeric seals for hydraulic disc brake cylinders using a non-petroleum base hydraulic brake fluid (service temperature 150 °C max.) (MOD)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯

**JIS G 3303** ぶりき及びぶりき原板

**JIS G 5501** ねずみ鉄品

**JIS H 2201** ダイカスト用亜鉛合金地金

**JIS H 3100** 銅及び銅合金の板及び条

**JIS H 4000** アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

**JIS K 2228** 自動車ブレーキ用非鉱油系ラバー潤滑剤

**JIS K 2233** 自動車用非鉱油系ブレーキ液